

連結決算補足説明資料

2024年3月期

(2023年4月1日～2023年9月30日)

2023年10月31日

(証券コード：9640)

株式会社セゾン情報システムズ

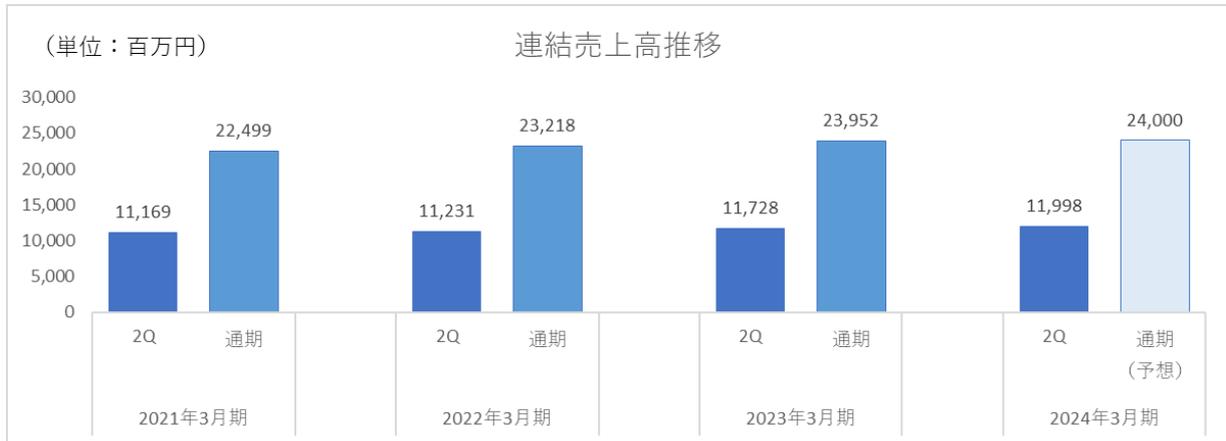
目次

1. 連結売上高・連結営業利益の推移
2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減
3. 事業セグメント別の損益状況
 - ① HULFT 事業
 - ② データプラットフォーム事業
 - ③ 流通 IT サービス事業
 - ④ フィナンシャル IT サービス事業
4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率
5. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 連結売上高・連結営業利益の推移

■連結売上高



<当第2四半期連結累計期間>

連結売上高は、HULFT 事業、データプラットフォーム事業及び流通 IT サービス事業が拡大したこと等により、11,998 百万円（前年同期比 2.3%増）となりました。通期予想（24,000 百万円）に対しては、進捗率 50.0%となりました。

<2023 年 3 月期（通期）>

- HULFT 事業及びデータプラットフォーム事業が拡大したこと等により売上が増加（前年同期比 733 百万円増）

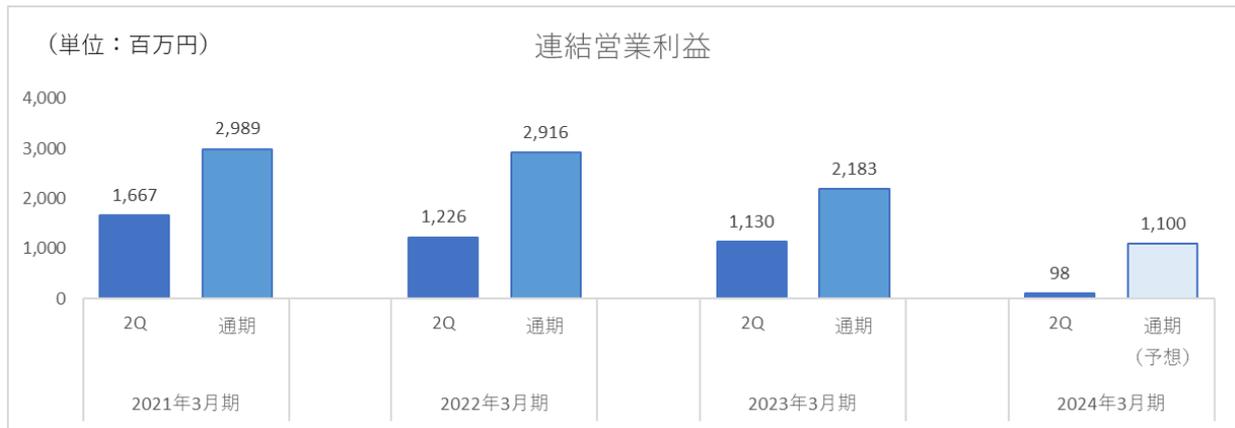
<2022 年 3 月期（通期）>

- 事業モデルの転換に伴う既存事業の一部縮小はあった一方、成長の柱に位置付けるリンケージ事業及び HULFT 事業の売上が増加（前年同期比 719 百万円増）

<2021 年 3 月期（通期）>

- 成長の柱に位置付けているリンケージサービスが進展。一方、流通 IT サービス事業及びフィナンシャル IT サービス事業の既存領域におけるシステム開発・運用案件は減少（前年同期比 1,061 百万円減）

■連結営業利益



<当第2四半期連結累計期間>

連結営業利益は、HULFT 事業が順調に増益となった一方で、流通 IT サービス事業において、受注損失引当金繰入額 1,272 百万円を売上原価に計上したこと等により、98 百万円（前年同期比 91.3%減）となりました。通期予想（1,100 百万円）に対しては、進捗率 8.9%となりました。

<2023年3月期（通期）>

- 「HULFT Square」等製品サービスの開発及び人的資本への費用が増加（前年同期比 732 百万円減）

<2022年3月期（通期）>

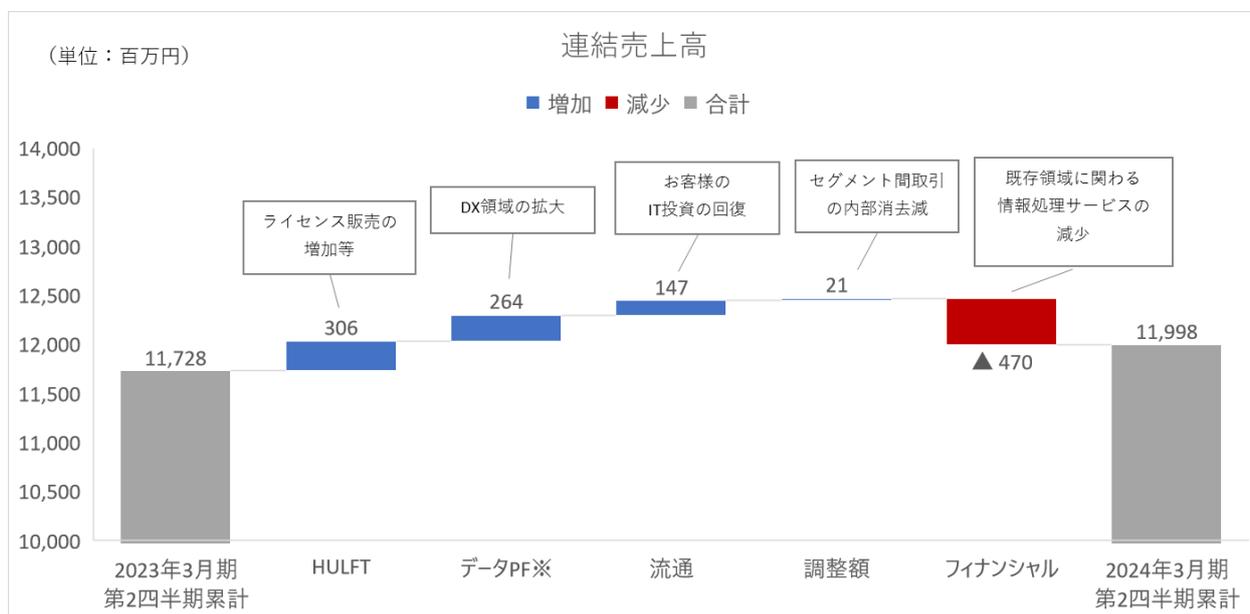
- 「HULFT Square」の研究開発費等が増加（前年同期比 72 百万円減）

<2021年3月期（通期）>

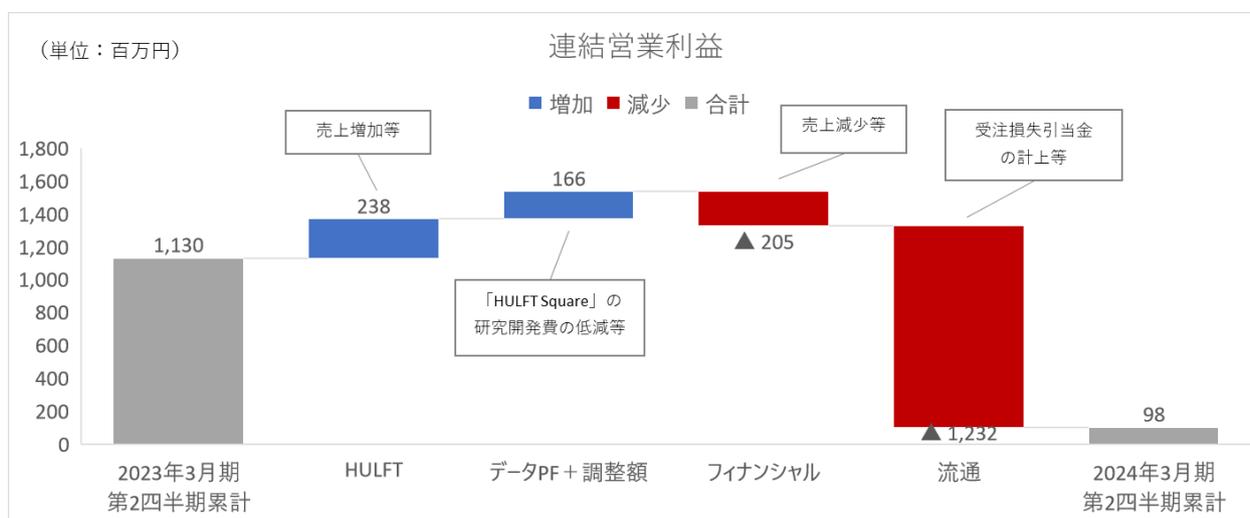
- リモートワークの拡大、イベント・商談のオンライン化等による生産性向上の取組みが奏功したものの、「HULFT Square」に関わる研究開発費が増加（前年同期比 460 百万円減）

2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減

■連結売上高



■連結営業利益



※連結営業利益における調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない「HULFT Square」に係る研究開発費等であります。

※セグメント名称は略称で表記しており、正式名称は以下のとおりです。

HULFT：HULFT 事業

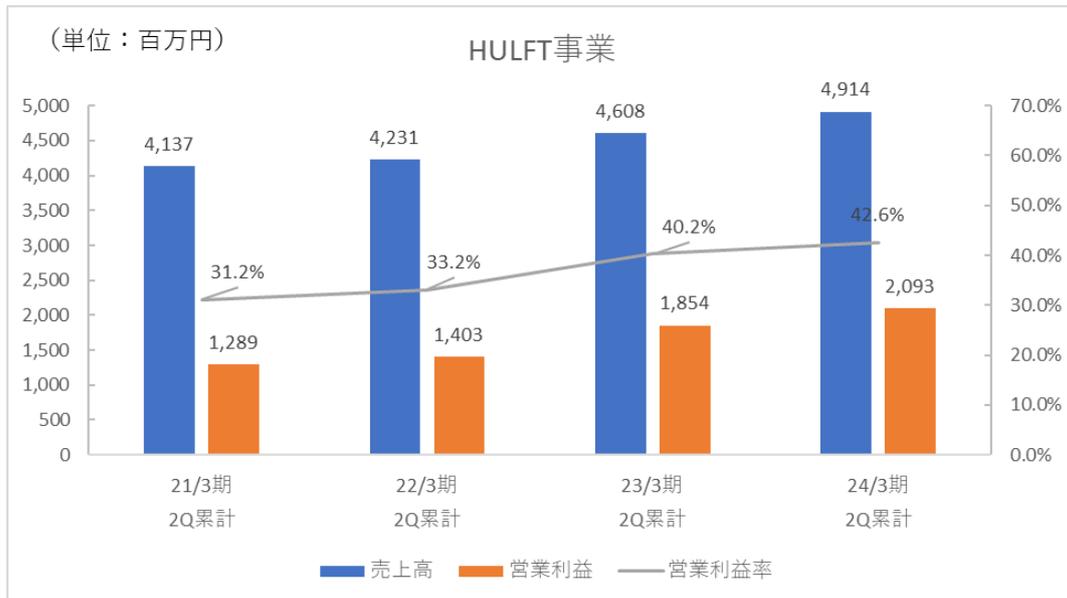
データ PF：データプラットフォーム事業

流通：流通 IT サービス事業

ファイナンス：ファイナンス IT サービス事業

3. 事業セグメント別の損益状況

① HULFT 事業



<当第2四半期累計期間>

- ライセンス販売の増加及びサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 306 百万円増）
- 売上高の増加等により営業利益増加（前年同期比 238 百万円増）

<2023年3月期第2四半期累計期間>

- 堅調な DX 関連システム需要を受けて、「HULFT」「DataSpider」のライセンス販売、サブスクリプションサービス及びサポートサービス更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 376 百万円増）
- 売上高の増加等により営業利益増加（前年同期比 451 百万円増）

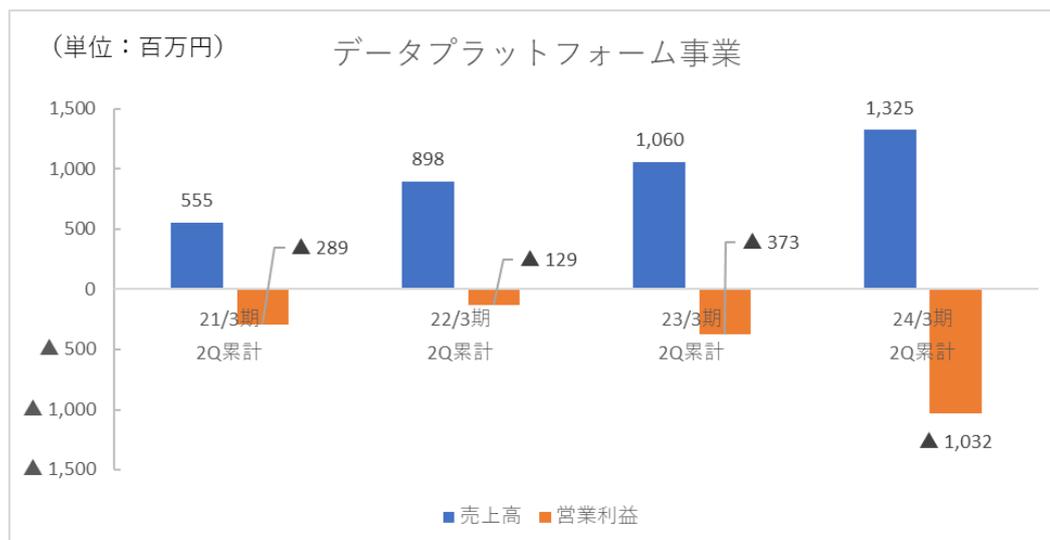
<2022年3月期第2四半期累計期間>

- 「HULFT」「DataSpider」のライセンス販売が回復したこと及びサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 93 百万円増）
- 生産性の向上により営業利益増加（前年同期比 113 百万円増）

<2021年3月期第2四半期累計期間>

- 「HULFT」「DataSpider」等の保守・サービス販売が増加したもののリプレース需要の停滞等により売上高減少（前年同期比 154 百万円減）
- イベント・商談のオンライン化、営業活動品質・生産性向上等に伴う販売費及び一般管理費の減少等により営業利益増加（前年同期比 106 百万円増）

② データプラットフォーム事業



流通 IT サービス事業の一部としてサービス提供をしておりましたリンケージビジネスは、今後の更なる事業拡大を目指し、2021年3月期から「リンケージ事業」として分離独立しています。また、2023年3月期から「リンケージ事業」を「データプラットフォーム事業」に名称変更しております。

<当第2四半期連結累計期間（データプラットフォーム事業）>

- DX領域が拡大したこと等により売上高増加（前年同期比264百万円増）
- サービスの立ち上げフェーズである「HULFT Square」の原価の計上等により1,032百万円の営業損失（前年同期は373百万円の営業損失）

<2023年第2四半期連結累計期間（データプラットフォーム事業）>

- モダンファイナンスサービス及びモダンマネジメントサービスの売上拡大等により売上高増加（前年同期比162百万円増）
- 今後のDX案件需要増に対応する体制強化に伴う原価の増加等により373百万円の営業損失（前年同期は129百万円の営業損失）

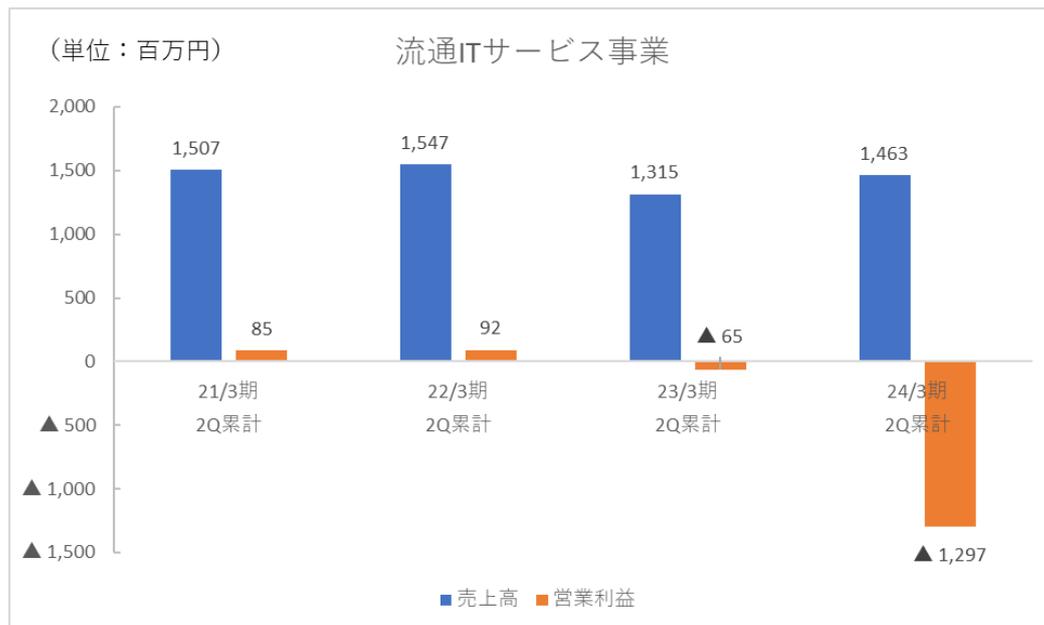
<2022年3月期第2四半期累計期間（リンケージ事業）>

- モダンマネジメントサービス及びデータ連携基盤構築サービスの取引規模拡大、財務経理部門のデジタル化を支援するモダンファイナンスサービスで新規お客様獲得が進展したこと等により売上高増加（前年同期比343百万円増）
- リンケージサービス拡大を目指し、人員増加等に伴うコストが増加したことにより129百万円の営業損失（前年同期は289百万円の営業損失）

<2021年3月期第2四半期累計期間（リンケージ事業）>

- データ連携基盤構築サービスが増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり新規顧客数の獲得が想定していたほどには進展せず、ほぼ横ばいで推移（前年同期比2百万円減）
- リンケージサービス拡大を目指し、人員増加等に伴うコストが増加したことにより289百万円の営業損失（前年同期は53百万円の営業損失）

流通 IT サービス事業



※2021年3月期から流通ITサービス事業はリンケージビジネスを分離独立しています。2020年3月期以降は、リンケージビジネスを分離させた調整後の数値です。

<当第2四半期連結累計期間>

- お客様のIT投資が回復してきたこと等により売上高減少（前年同期比147百万円増）
- 開発を進めていた一部プロジェクトに高負荷が発生したことにより、この立て直しに必要な今後の開発コストとして、受注損失引当金繰入額1,272百万円を売上原価に計上したこと等により1,297百万円の営業損失（前年同期は65百万円の営業利益）

<2023年3月期第2四半期連結累計期間>

- 当社の強みが活きるDX領域への選択と集中を図ったこと等により売上高減少（前年同期比231百万円減）
- 売上高の減少に伴い65百万円の営業損失（前年同期は92百万円の営業利益）

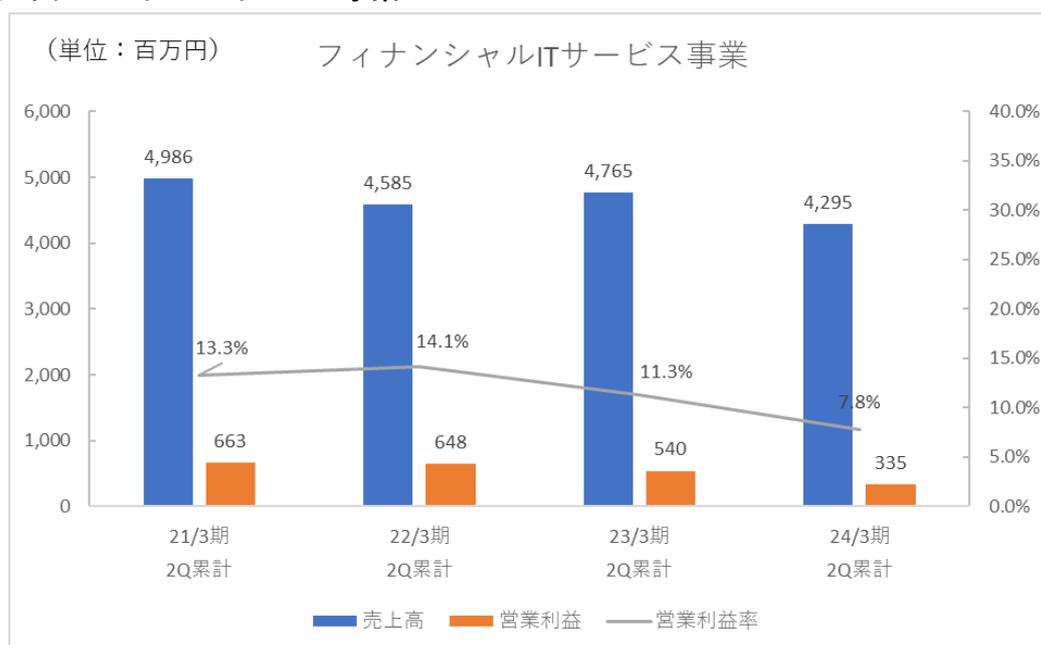
<2022年3月期第2四半期累計期間>

- 一部のお客様において新型コロナウイルス感染症拡大によるIT投資抑制等の影響はありましたが、一方で積極的にDXを進めるお客様もあり、売上高増加（前年同期比39百万円増）
- 売上高の増加に伴い営業利益増加（前年同期比7百万円増）

<2021年3月期第2四半期累計期間>

- 既存領域におけるシステム開発案件が減少したこと等により売上高減少（前年同期比199百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比86百万円減）

③ フィナンシャル IT サービス事業



※2020年4月1日付で、Fintechプラットフォーム事業からフィナンシャルITサービス事業へ名称変更しております。

<当第2四半期連結累計期間（フィナンシャルITサービス事業）>

- 既存領域における情報処理サービスの減少等により売上高減少（前年同期比470百万円減）
- 売上高の減少等により営業利益減少（前年同期比205百万円減）

<2023年3月期第2四半期連結累計期間（フィナンシャルITサービス事業）>

- 新規サービス提供が進展したこと等により売上高増加（前年同期比180百万円増）
- 前年同期に利益率の高い案件があったことから対前年では営業利益減少（前年同期比108百万円減）

<2022年3月期第2四半期累計期間（フィナンシャルITサービス事業）>

- パブリッククラウド上の環境構築等、新規サービス提供が進展した一方、既存領域におけるシステム開発案件の減少等に伴い売上高減少（前年同期比401百万円減）
- 生産性の向上により収益性は改善しているものの、既存領域における案件の減少等により売上高が減少したことにより営業利益減少（前年同期比14百万円減）

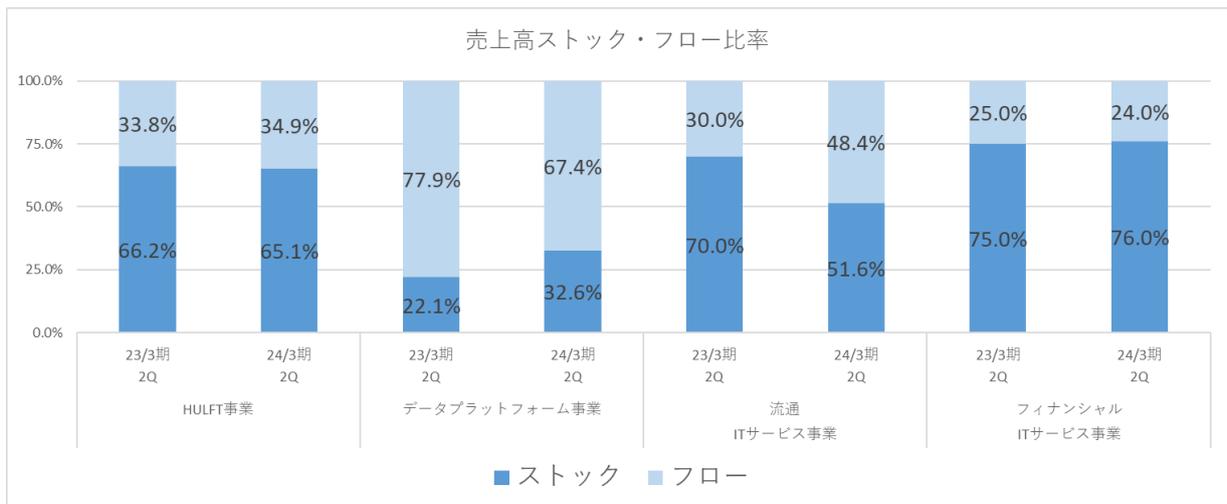
<2021年3月期第2四半期累計期間（フィナンシャルITサービス事業）>

- パブリッククラウド化へのインフラ環境構築等の新規サービス提供が進展したことにより売上高増加（前年同期比66百万円増）
- 当連結会計年度において取り組んでいる事業推進体制の最適化による効率的な事業運営効果が出始めたことにより営業利益増加（前年同期比71百万円増）

4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率

当社グループは、金融・流通小売業をはじめとする多種多様な業種向けシステム開発・運用等及びデータ連携サービスを提供しております。前連結会計年度にリリースした iPaaS（クラウド型データ連携プラットフォーム）である「HULFT Square」を基盤として、サービス提供を中心としたストック型ビジネスの拡大を目指しております。

以下は、セグメント別売上高ストック・フロー比率を当連結会計年度と前年同期で比較したデータです。



※ストックは継続取引（当社製品・サービスに関するサポートサービス、サブスクリプション型サービス、システム保守運用等）、フローはスポット取引（ライセンス販売、システム開発等）

5. トピックス

■ニュースリリース一覧（期間：2023年7月1日～2023年9月30日）

セゾン情報システムズとnCino

銀行業務のDX推進支援のため『連携ソリューション』を発表

- 銀行業界は競争環境の激化や顧客の期待値の高まりにより、DXが急務となっています。しかし、思うように進まない要因の一つに、勘定系などのオンプレミスシステムとクラウド環境の周辺業務システムを連携させる際の、インターフェース開発にかかる膨大な工数とそれに伴うコスト増があります。今回発表した連携ソリューションの「nCino」は融資プロセスの一元管理を実現し「HULFT Square」と「HULFT」を利用しオンプレミス環境とデータ連携することにより、インターフェース開発の工数とそれに伴うコスト増を抑え銀行業務のDX推進を支援します。

貿易DXを推進するトレードワルツが、セゾン情報システムズと協業

- 株式会社トレードワルツは、貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」（以下：TradeWaltz）のAPI利用拡大に向け、セゾン情報システムズが提供するiPaaS「HULFT Square®」を用いた実証試験で、TradeWaltzユーザーによる自社システム-TradeWaltz間のAPI連携にかかる手間や時間を飛躍的に効率化・短縮できることを明らかにしました。

日本記念日協会から記念日登録ダブル認定

- 今年の「HULFT発売30周年記念日」および2月9日「データをつなぐ日」が、一般社団法人日本記念日協会より正式に記念日登録の認定を受け、セゾン情報システムズ本社にて「記念日登録証」が授与されました。

日立システムズ「Gateway for Business Cloud」とセゾン情報システムズ「HULFT Square」の連携によって、お客さまのDXに必要なSaaS・クラウド利用を促進

- 株式会社日立システムズとセゾン情報システムズは、お客さまのDXに必要なクラウド・SaaS利用の促進を目的に、マルチクラウド環境を効率よく構築・運用するために必要な各種サービスを体系化したマネージドサービス群である日立システムズ「Gateway for Business Cloud」と、日本発iPaaSである「HULFT Square」を組み合わせ提供します。

「第18回 日経 IR・個人投資家フェア 2023」に参加し、会社説明会を実施いたしました。

- 「第18回 日経 IR・個人投資家フェア 2023」に参加し、会社説明会を実施いたしました。当日の会社説明会動画を期間限定で公開しております。

<当社 YouTube チャンネル>

<https://www.youtube.com/watch?v=rr81bdRsuHo>

※2023/9/1-2 日本経済新聞社主催「第18回 日経 IR・個人投資家フェア 2023」
無断使用・無断転載禁止

ファイル転送ツール分野において、「HULFT」20年連続国内市場シェア1位を獲得

- 株式会社富士キメラ総研が2023年7月に発行した「ソフトウェアビジネス新市場2023年版」のファイル転送ツール分野において、「HULFT」が20年連続で国内市場シェア1位を獲得したことを発表しました。

事業とCSRをつなぐ営業利益1%寄付でサステナビリティ経営を加速

- セゾン情報システムズは、持続可能な社会の実現に向けてサステナビリティ経営を加速させるべく、2022年度営業利益の約1%に相当する約2,156万円を計11団体に寄付しました。当社は2020年度より前年度営業利益の1%を非営利団体に寄付してきましたが、今回より寄付方針を大きく見直し、当社ミッションおよびマテリアリティ（重要課題）に関連した活動を行う団体を対象としています。

欧米向けに「HULFT Square」を10月5日に提供開始

- 2月9日に国内でサービス開始した日本発iPaaS「HULFT Square」を、今秋10月5日より欧米市場でも提供することを発表しました。このサービス開始に合わせ、11月にアメリカのラスベガスで開催されるAWS re:Invent 2023にも出展します。

セゾン情報システムズ「HULFT Square」とエム・データ「TVメタデータ」の連携により、データ活用やDXを推進

- セゾン情報システムズとテレビの放送内容をテキスト化した「TVメタデータ」を提供する株式会社エム・データは、効率的なデータ活用やDXを推進するための協業を発表しました。

「HULFT Technology Days 2023」の開催を発表

- セゾン情報システムズは、年次イベント「HULFT Technology Days（ハルフトテクノロジーデイズ）2023」の開催を発表しました。11月7日（火）に会場にて、21日（火）および22日（水）にオンラインにて開催します。本年は、テーマとして「DXのバラバラを、スルスルに。データ活用へはデータ連携から。」と題し、当社ミッションの「世界中のデータをつなぎ、誰もがデータを活用できる社会を作る」を実現するためのテクノロジーに焦点を当て、イベント名称に「テクノロジー」を加えて、当社の強い意志と取り組みを表明しております。

DATAFLUCT とセゾン情報システムズ、オンプレミスも含めたあらゆる環境のデータと非構造化データの活用を加速

- DATAFLUCT の「AirLake」とセゾン情報システムズの日本発 iPaaS「HULFT Square」を連携し、「オンプレミスも含めたあらゆる環境のデータ」や「非構造化データ」のデータ収集・整理・分析を自動化し情報検索やレポートなど、人手が必要なバックオフィス業務削減が可能なソリューションを提供開始しました。

【HULFT Square】導入事例公開「日清食品ホールディングス株式会社様」

- <https://home.saison.co.jp/company/news/archive/search?year=2023>

セゾン情報システムズ「HULFT Square」とアット東京「ATBeX」、オンプレミスやマルチクラウド環境に分散したデータの連携を閉域網でスピーディに提供

- セゾン情報システムズと株式会社アット東京は、既に「ATBeX」へ接続しているお客様はもちろんのこと、これからクラウド環境に関わらず「HULFT Square」を利用し、SaaS 間連携やオンプレミス・クラウド間連携といったデータ連携を始めるお客様へもスピーディに閉域網でサービスを開始しました。

お客さまの内製化を促進し DX 実現に寄与する「HULFT Square」アップデート (No.2023.3) を 9 月 25 日より提供開始

- 「HULFT Square」は 3 か月ごとに、新機能やお客さまからのご要望を取り入れ定期アップデートを実施しています。グローバル展開に向けたセキュリティ強化に関する今年 5 月のアップデート (No.2023.2) に続き、今回のアップデートではお客さまの内製化促進とマルチクラウド・マルチ SaaS の環境下における IT ガバナンス強化に焦点を当てています。

長野県はセゾン情報システムズの HULFT シリーズを住民生活の向上を目指したデータ連携基盤に採用

- 長野県が洪水予測などの住民生活の向上を目指したデータ連携基盤に、「DataSpider Servista」と「HULFT DataCatalog」を採用したことを発表しました。この基盤は、2023 年 4 月から運用開始されており、77 市町村を対象とし、これまで個別にデータ取得・保有していた負担を軽減しながらデータ収集ができます。

<お問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ

経営企画室 IR 担当

Tel : 03-6370-2930

URL : <https://home.saison.co.jp/>